

vol. 160

発行日 令和6年10月1日  
発行 社会福祉法人 天竜厚生会  
発行者 伊藤 栄  
編集 総務部 総務課

# あかまつ



*Focus*

頭上で大きく開く花火  
天竜厚生会納涼花火大会 (P.3)

*Focus 2*



ありがとう  
なぎさ保育園  
～思い出の展示会～ (P.9)



# Contents

Akamatsu  
vol.160  
2024.10.1

目次	1
常務理事就任のご挨拶	2
頭上で大きく開く花火 天竜厚生会納涼花火大会	3
令和6年度 組織再編について	4
仕事の魅力紹介	5
施設の活動紹介	7
ありがとう なぎさ保育園 ～思い出の展示会～	9
令和6年度 高齢・障がい・子育て担当者との連絡会開催	10
「はますくヘルパー利用事業」について ～子育てに安心を～	11
「みゅうの丘協議会」共同イベント MEW FES!! 開催しました!	12
カンボジア王国幼児教育支援感謝状贈呈式	13
機械と人間のWin-Win化計画 ～ロボット草刈機による農福連携のIT化と効率化を図る～	13
浜松市天竜障がい者相談支援センター開設について	14
第12回 いきいき健康フェスタへの参加	14
今ふりむいて	15
苦情受付の公表について(定期報告)	16
善意の皆さま	17
第49回 厚生会まつり	裏表紙





## 常務理事就任のご挨拶

常務理事兼総務部長  
村瀬 勇

令和6年6月26日の評議員会にて、理事としてのご承認をいただき、その直後に開催された理事会にて、常務理事としてのご承認をいただくこととなりました。

少し振り返れば、8年前に総務部長に就任した際の戸惑いは相当大きく、自問自答を重ねることもありましたが、今回は部長職に兼務しての常務理事ということで、一層、気が引き締まる想いがあります。

大きく振り返れば、入職は平成4年4月の23歳のとき。大学を卒業して就職するときは、「福祉で介護の仕事をしたい」、「障がい等の不自由さを抱える方々への下支えになりたい」という、強く明確な意思を持っていましたが、当時、当法人の男性採用枠はなく、一度、民間企業に就職した1年後に当法人に転職することとなりました。「やっと天竜厚生会に就職して、福祉に携わることができた」と胸を撫で下ろすような気持ちは今でも忘れることはありません。

以後、会計課、高齢在宅サービスソーシャルワーカー、有床診療所の医療ソーシャルワーカー、福祉医療機構出向、デイサービス・特別養護老人ホームのソーシャルワーカー等、広範な部署で且つ、様々な経験をさせていただきました。ただ若い頃は、実践を思考整理することも、法令根拠を押さえるような感じではなく、ただひたすら我流的にご利用者支援に没頭するといった、大変お粗末なものでした。

こうした自分の転機となったのは、2年間の出向と、遅まきながら平成19年に社会福祉士の資格を取得し、静岡県社会福祉士会に入会したことにあったように思います。いずれも当法人

から少し距離を置いて、当法人を客観視するような形で、他法人、関係機関による事業展開、自分とは異なる分野で働くソーシャルワーカー等の価値観、考え方の違い等を体感することで、「自分には何が足りていないのか」という自覚と、「この福祉業界はどうあるべきなのか」という想いを描くようになり、やっと福祉従事者らしい力量が身についたと振り返ることができます。

前述のとおり、私が当法人に入職したのは、平成初期の頃で、当時は措置制度が主流を成し、介護保険法や障害総合支援法、認定こども園法は平成12年以降のことでした。これらの新制度により民間企業の業界参画等、周辺環境は大きく変化し、権利擁護の視点や競争原理が生じた点は良いことではありますが、その一方で横領等の不祥事やご利用者を軽視するような事業撤廃や不正請求が後を絶たないことも事実であり、今、社会福祉法人という公が担う福祉事業が再認識され、社会の期待が寄せられています。

こうした時代趨勢の中、労働人口が減少するといった不可避な厳しい現実を目前にしつつ、常務理事に就任することとなりました。常務理事に就任して、特別な事項に取り組むというより、当法人の進むべき方向性の一つひとつを職員の皆さまとの多くの対話によって思案し、導けるような存在となれるように、一層の研鑽を重ねていくことをここに誓約いたします。また当面はこれまでどおり、総務部を担い、「働き易い魅力ある職場」の実現に向け、鋭意努力していきますので、これまで以上のご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしく願いいたします。

# 頭上で大きく開く花火 天竜厚生会納涼花火大会

福祉サービス課  
ソーシャルワーカー  
鈴木 里緒菜



毎年恒例の天竜厚生会納涼花火大会、今年は7月19日(金)に開催しました。午後7時30分から約30分間、打ち上げ花火210発とスターメイン2発が夜空を彩りました。ご利用者の頭上で大きく開く花火の光と、空に響きわたる迫力ある音に歓声や拍手が湧き上がりました。今年は、例年よりも多くの方々にお越しいただきました。来年も皆様と花火を楽しめるように計画を進めて参ります。最後に花火大会開催にあたりご協力いただきました田畑煙火株式会社様、その他関係者の皆様には心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

『天竜厚生会の花火会場は、打揚者と観客の皆様との距離が近く、花火が上がった際の反応がとても分かりやすく感じます。今年も皆様によるこんでいただき、ありがとうございました』

田畑煙火株式会社 代表取締役田畑社長からのコメント



◀会場から見た花火

『「きれいだね」とみんな  
で眺めていました』  
厚生寮職員より



▲吹上花火の様子(厚生寮)

『ここらへんに長く住んで  
いるけど毎年楽しみにし  
ているよ』

地域住民より



▲会場付近より観覧する様子  
(翠松苑、しんぼらの家)



▲花火大会翌日の片付けの様子

今年も静岡県立浜北西高等学校柔道部の皆さんがボランティアに来て  
くださいました。  
花火大会当日のお手伝いや片付け、翌日には、花火の破片集めにも参加  
くださいました。

# 令和6年度 組織再編について

常務理事兼総務部長  
村瀬 勇



6年前の平成30年度より、国策による「地域共生社会の実現」の推進を踏まえた大幅な組織再編が行われました。大きなところでは、障がい、高齢といった分野軸で分かれていたものを、入所(障がい者就労、通所系含む)と在宅(相談・訪問系、生活困窮事業等)という切り口で分け、分野、縦割りに囚われない一元的な思考とサービス展開を主な狙いとしたものでした。

以後、昨年度では、総務部に人事課を新設し、採用力強化や外国人雇用の維持拡大に注力する等、部分的な再編は行われてきておりますが、今回の組織再編においては、①監査指導部を廃止し、監査指導課として理事長直轄の位置づけとしたこと、②就労支援事業部を新設し、施設サービス事業部管轄であったグループホームを移管したこと、③施設サービス事業部管轄の通所支援課を廃止し、通所系事業は地域福祉事業部の管轄としたことの3項目について、改編が行われました。

①については、組織上の部としての位置づけを廃止し、理事長直轄の課として第三者性と組織独立性を担保させた上で、行政監査への対応やISO内部監査、リスク管理等を推進する課としたところです。

②については、グループホームご利用者の多くが天竜福祉工場、みのりへ勤務している実態から、一元管理による相互連携により、ご利用者支援に資することが狙いとなります。また、令和6年度より天竜区青谷に開設された天竜エコテラス(天竜福祉工場、天竜ワークキャンパスの従業員、ご利用者が従事)への事業協力やオリーブ製品等の販路拡大による事業拡張等、障がい者全般の一層の雇用促進を図っていくこととなります。

③については、運営上の課題が多い通所事業について、連携先であるケアマネジャー等居宅相談事業を一元管理とすることで、相互のコミュニケーションを活発化させ、事業運営の相乗効果を最大限に引き出すことを狙いとしたものです。

以上、令和6年度による組織再編の概要につい

て述べさせていただきましたが、現状のあり方においても諸課題は生じており、継続的に見直していくことが不可欠です。また見直しに際し留意すべき根幹とは、基本理念に伴うご利用者支援の追求にあり、これに次いで職員の働き易さと共感を得ることだと考えております。また、深刻化する社会全体の人口減という厳しい現状を踏まえれば、冒頭の「地域共生社会の実現」と今後の当法人組織のあり方は、一体となるべきものであり、目指すべき骨太の方針と言えます。

## 令和6年度組織再編

①	監査指導部を廃止、監査指導課として理事長直下の位置づけとする
②	就労支援事業部を新設し、施設サービス事業部管轄であったグループホームを移管
③	施設サービス事業部管轄の通所支援課を廃止し、通所系事業は地域福祉事業部の管轄とする

天竜厚生会組織図はこちらから  
ご覧ください。

soshikizu2024.pdf  
(tenryu-kohseikai.or.jp)



# 仕事の魅力 紹介

IT関係について  
お気軽にご相談ください

設備情報管理課  
事務員

森田 美穂

## これが私の仕事!

主に天竜厚生会で使用している、パソコンなどのIT機器や電話などの調達・管理をしています。

## この職種を選んだ理由

昔からパソコンに触れる機会が多く、自分ができることを活かして福祉に関わることができればと思い総合職を選びました。

## 仕事のやりがい

各部署の職員からITに関する問い合わせや相談などが多くあります。相談されたことが無事に解決したときに達成感を感じます。



## 印象的だった エピソード

事務員になり4年目となりますが、業務でケアワーカーとして働いていた施設に何うと、今でもご利用者から名前を呼んでいただけます。ケアワーカーとして働いていたのは3年という短い期間でしたが、名前を今でも覚えていただけてとても嬉しかったです。

## これからの目標

直接ご利用者と関わる機会は少ないですが、天竜厚生会のITセキュリティを守りながら、ご利用者の生活と職員の職務環境がより良くなるよう支えていきたいです。



設備情報管理課の皆さんと

## ある日のスケジュール

朝礼

8:30

事務・電話対応



外出



施設のパソコンの調子が悪いとの連絡があり、パソコンの中を確認しています

業者と  
打ち合わせ



12:30

お昼休み



同期と一緒に  
食べています

14:00

退社

17:30

# 仕事の魅力 紹介

## 信頼される保育者へ

子育てセンターとみがおか  
保育教諭

松永 滢奈

### これが私の仕事!

1歳児クラスの担任をしています。子どもたちが安心して過ごせる保育環境や、子どもたちの個性を活かせる保育活動や雰囲気作りに努めています。

### 仕事のやりがい

子どもの成長や発達に関わるととても大事な仕事です。子どもたちの大きくなっていく姿や身近なことが少しずつできるようになることに成長を感じたり、保護者の方と共有して一緒に喜ぶことができたりすることにやりがいを感じます。

### この職種を選んだ理由

元々小さい子が好きで、子どもと関わる仕事に就きたかったため、子どもの成長に関わり、その成長を間近で感じることが出来るこの職種を選びました。



### 印象的だったエピソード

働き始めた時に保護者の方から「家で「れいな先生と遊んだよ」とお話ししてくれました」と聞きました。家族の間で話題にあがったり、名前を覚えてもらえたりしたことで子どもたちの中で園の先生という認識をしてもらえたことに嬉しさを感じました。

### これからの目標

働き始めて3年目になります。まだまだ未熟な部分もありますが、子どもたちや保護者の方とたくさん関わり、信頼される保育者になりたいです。



職員の皆さんと

### ある日のスケジュール



おやつ前の手洗い!



どの絵本がいいかな



あそび

これにしよう!

出勤

8:30

9:00

おやつ

外あそび

10:00

給食

11:00

休憩

12:00

15:00

おやつ

16:00

17:30

退社



子どもたちと一緒に食べます♪

# みんな元気、みんなの笑顔

# 施設の

子育てセンターひだまり

## お茶摘み



「一芯二葉」  
みつけたにっ!!

掛川の「茶草場農  
法」は世界一!!



「はあ〜」  
「お茶が美味しい」

地域の方のご厚意で、毎年長児がお茶摘み体験をさせていただいています。子どもたちは、太陽の光が当たって若い緑色が輝く「一芯二葉」の新芽を、真剣なまなざしでそと摘み取ります。新芽の柔らかさ、摘み取る時の音、籠一杯のお茶の葉の香りを感じ、友達と気づきを伝え合います。帰園後は、掛川お茶大使の吉岡さんが急須で新茶を入れて下さり、食事ではお茶の葉の天ぷらを味わいました。地域の方とのつながりが積み重ねられていく『絆』を感じています。

天竜病院ひまわり保育園

## まどかのご利用者との七夕交流



まどかのみなさんと  
一緒に七夕飾りを  
したよ。

握手した  
おばあちゃんの手は  
温かかったな。



ぼくたちが作った  
笹飾りだよ。  
どうぞ。

当園は天竜病院の院内保育所として天竜病院の職員のお子さんはもちろん、当法人職員のお子さんの保育所となっています。7月に軽費老人ホームまどかのご利用者との七夕交流を行い、一緒に飾りつけをしました。ご利用者から温かいまなざしを向けられ、温かい言葉をかけられました。園児からは手作りの笹飾りと歌をプレゼントしました。普段関わることのない大人との世代間交流は、人と関わる楽しさを園児に教えてくれています。

# 活動紹介

## 体験して発見の毎日！

さいわい

### フロアdeリハビリ 色とりどりのかきカード作り

まずは、  
折りたたみましょう



ピタッと  
貼り付けて...



仕上げの  
スタンプ押し！



介護老人保健施設さいわいでは、専門職によるリハビリの一環として、作品作りを行っています。通常、1Fの訓練室で行うリハビリですが、今回、居住スペースの食堂で行うことを試みました。多くのご利用者が思い思いの色・形・大きさを選択し、折りたたむ・貼り付ける・飾りつけなど精緻な作業に集中して取り組まれていました。現場の看護・介護職員にも立ち会ってもらうことで、普段の生活では見えなかったご利用者の一面や表情を確認する良い機会にもなりました。

登呂の家デイサービスセンター

### しぞ〜かでん伝体操で身体を元気に！

たいへんだけれど  
みんなとなら  
頑張れる！



自分のペースが  
大事！  
無理はしないよ

この旗が目印！  
みんな  
参加しよう！



皆さん、「しぞ〜かでん伝体操」を知っていますか？でん伝体操とは静岡市が推進する介護予防体操のことです。登呂の家では毎週月曜日に地域交流室を貸し出し、地域の方に身体を動かす機会を提供しております。もちろん無料！現在は約10名の方が参加されています。

立ったままでも座ったままでもできるので、本人に合わせた負荷の調整ができます。中には重りを付けて参加されている方も！みんなで一緒に頑張りましょう♪

# ありがとう なぎさ保育園 ～思い出の展示会～

なぎさ保育園  
園長  
高柳 陽子



昭和53年に創立してから、880人の卒園児を送り出したなぎさ保育園が、令和7年3月31日をもって閉園となります。

当園は、湖西市北端に位置し、浜名湖と湖西連峰に囲まれた高台にあります。自然に恵まれていて、のんびりとした環境の中で、地域の人々とのつながりも深く、園児は、保護者の職場や住居などそれぞれの状況により、湖西市全域から利用していただけてきました。

本年度は、年長児8名と職員7名の計15名が在籍しています。園児は少なくなりましたが、一人ひとりの個性を大切に職員全員で子どもたちと関わり、楽しい園生活を送っています。

天竜厚生会の園として、大事にしている教育・保育理念「感性豊かで生きる力をそなえた子どもを育てるために」を基本に保育をしておりました。

長きにわたり多くの皆様に愛され、47年間園児を見守ってきた園舎に感謝すると共にお別れをしたいと思い、8月に卒園児やOB職員、お世話になっ

た地域の方々を招いて思い出の展示会を開催いたしました。

卒園児が来やすいよう夏休み期間(8月19日～8月31日)に開催したことで、多くの皆様にご来場いただきました。ご来場者からは、「当時と変わっていないね」「懐かしい」「家庭的で温かな保育園だった」「お世話になった先生がいてくれてうれしい」「なぎさ保育園がなくなるのは寂しい」など思い出話に花が咲き、閉園を惜しむ声も多く聞かれました。中には、「親子でお世話になった」という方もおり、ご家族で見に来てくださる方も大勢いらっしゃいました。

ご来場者には、思い出に残るよう記念品として園舎の写真と園歌を印刷したクリアファイルを配布いたしました。

皆様のおかげで、47年間の長きにわたり運営を続けられたことを心から感謝いたします。ありがとうございました。



▲しぜん・・・自然との触れ合いを大切に、サンクチュアリジャパンと提携して、毎年うみがめ放流や野鳥観察に出かけました。



▲湖西焼・・・陶芸(湖西焼)で在園児が自分の顔を作りました。



▲小野田時計さんとの交流・・・毎年、時の記念日に、いろいろな種類の時計を見せてもらい、紙芝居やお話しをしてもらいました。



▲和太鼓・・・7つの活動の一つである和太鼓は、0歳児から親しんできて、年長になると行事等で発表しています。

# 令和6年度 高齢・障がい・子育て 担当者との連絡会開催

福祉サービス課  
係長  
ソーシャルワーカー  
平田 翔吾



福祉行政担当者との連携を密にし、当法人の福祉サービスの質の向上を目的に開催している「高齢・障がい・子育て担当者との連絡会」を、本年度は6月21日に開催しました。

当日は21団体計45名の行政担当者にご参加いただき、全体会では理事長より法人設立からの歴史と現在の法人概要の説明を行い、また各事業課長より事業の紹介と法人が抱える課題について行政職員の皆さまと共有しました。



▲全体会の様子

後半は事前に希望をとった別表のコースに分かれ、各2事業所を視察しました。



▲「さいわい」見学の様子



▲「赤石寮」見学の様子

## 【別表】見学コース一覧

	コース	事業所1	事業所2
1	障がい①	天竜ワークキャンパス	天竜福祉工場
2	障がい②	赤石寮	グループホームうけどめ
3	障がい③	清風寮	美浜
4	高齢	さいわい	百々山
5	子育て	子育てセンターみゆうのおか	子育てセンターかきのみ

## 参加者アンケートより(一部抜粋)

- 法人の事業内容が分かり、施設入所等、相談する際のイメージを持つことができ、今後対象となりそうな方がいた場合には相談したいと感じた。
- 法人の理念や現場の状況を共有いただける機会がなかなかないためこのような場はありがたかった。
- 施設で過ごす方の様子や施設内の雰囲気を目にみることで良かった。
- 通常業務では知ることのできない設立経緯や今後に対する思いを聞くことができ、大変興味深く感じた。行政に求められていることを改めて考える大変貴重な内容であった。
- 本市にはない施設形態を見学させていただき、勉強になりました。
- 法人の基本理念に基づく事業展開が理解できました。医療、教育、福祉を連携し、多種多様な事業を紹介していただくことにより現在担当以外の業務も知ることができました。今後当市での事業展開や、他事業を担当する際などの参考になると感じました。

お問い合わせ先

福祉サービス課：053-583-1123

## 「はますくヘルパー利用事業」について ～子育てに安心を～

産前産後ヘルパーけやき  
(子育てセンターなかぜ内)  
保育士  
河合 恵美



平成31年4月に開設した“産前産後ヘルパーけやき”が本年度で6年目を迎えました。この事業は、浜松市委託事業「はますくヘルパー」として養育者の産前・産後の体調不良や家事、育児に対する不安や負担を抱えるご家庭に訪問し、家事や育児の手伝い、また相談や話し相手として必要な支援をするものです。

今年度より、下の表のとおり、サービスの範囲が拡大されました。

	変更前	変更後
対象	妊娠中～ 1歳誕生日前日まで	妊娠中～ 3歳誕生日前日まで
時間	50時間	75時間 <sup>*1</sup>

<sup>\*1</sup> 多胎児や障がい児、未熟児養育医療対象の子どもを養育している場合は150時間まで

サービス拡大の背景として、核家族化による孤立や、情報過多による子育てへの不安、1歳以降の支援を望む声などがあります。自宅で支援を受けられるサービスは、産前産後の身動きが取れない方や慣れない土地で子育てをする方などにとって、必要な支援の形と考えます。サービス拡大により、当事業所でもご利用者数が増加しています。

浜松市内では現在6事業所がはますくヘルパー事業を担っていますが、当事業所を選んでいただける理由の一つとして、併設する認定こども園の保育士資格者がヘルパーとして訪問するため、安心感を持っていただけることが挙げられます。乳幼児期の連続した育ちを理解していることや、園の看護師や栄養士等と連携し専門知識を活かして園全体で支援できることなどが強みと感じています。ご利用者からは「子どもとの関わり方を学べる」「子どもがヘルパーと遊ぶことを楽しみにしており、その姿を見ることが保護者にとっても喜びとなっている」という声をいただいております。また園も、ヘルパーからの報告を受け子育て家庭の実情を知ること、保護者支援へと繋げることができます。

当事業所は、保護者の育児を否定せず、思いや方針に寄り添いながら支援することを大切にしています。子育ての理想と現実とのギャップに困惑したり、他人と比較したりして、心と身体のバランスがとれず悩んでしまう保護者の葛藤を受け止められるよう傾聴を心掛けています。また、その中で必要なことは専門職としてアドバイスをすることで信頼関係作りに努めています。

子育ては思うようにはいかず大変なこともありますが、助けを求めることは甘えでも悪いことでもないことを皆さんに知っていただきたいです。一緒に子育てをする存在がいることが励みとなり、一人で頑張らなくていいことや子育ての楽しさ・喜びを感じてもらいたいという思いを持って、これからも支援していきたいと思えます。



▲訪問支援中、手遊びを一緒に楽しむ様子。

ご利用方法等の詳細については、浜松市子育て情報サイトぴっぴをご覧ください。

<https://www.hamamatsu-pippi.net/contents/7913.html>



### ～ヘルパー募集中～

ヘルパー業務に携わる職員を募集しています。詳細については、下記までお気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先：子育てセンターなかぜ(園長：本間)

TEL：053-584-0174



▲ボッチャ体験の様子(天竜特別支援学校)



▲自主生産品販売(天竜厚生会)



▲缶バッジ制作の様子(天竜厚生会)

「みゅうの丘協議会」共同イベント

# MEW FES!!

## 開催しました!

7月30日(火)サンストリート浜北のこもれびGARDENにて「みゅうの丘協議会」共同イベント『MEW FES!!(みゅう フェス!!)』を開催しました。

天竜病院・天竜特別支援学校・天竜厚生会がそれぞれの特徴を活かして、地域の方に楽しんでいただくブースを担当しました。当日は、約200名の方に「みゅうの丘」3団体を知ってもらえるよう努めました。

天竜厚生会は自主生産品の販売や缶バッジ制作、車いす体験を通し、福祉の魅力や法人のPRをしました!



▲浜北西高校生徒会ボランティアの皆さま



▲ボッチャ体験運営がんばります!



▲血圧測定・ハンドマッサージの様子(天竜病院)



▲職員も楽しめました!

### ～みゅうの丘協議会とは?～

浜名区於呂から天竜区渡ヶ島にまたがる丘は、「医療(天竜病院)」「教育(天竜特別支援学校)」「福祉(天竜厚生会)」の3団体が隣接しています。その特徴・強みを活かしていこうと、平成22年度から、Medication(医療)・Education(教育)・Welfare(福祉)の連携エリア『MEW=みゅうの丘』をスタートさせました。みゅうの丘協議会とは「医療・教育・福祉」三者連携の協議会を指します。



お問い合わせ先 福祉サービス課 TEL: 053-583-1123

## カンボジア王国 幼児教育支援感謝状贈呈式

子育て支援課  
課長  
横溝 智子



当法人は2015年から公益社団法人シャントィ国際ボランティア会(以下「SVA」という。)の協力団体として、カンボジア王国における質の高い幼児教育・保育の普及を目指すための事業に参画してきました。この事業では、当法人の保育教諭でプロジェクトチームを形成し、約50年間培ってきた教育・保育の知識とスキル等をもとに、現地タスクチームとのオンライン会議、訪日研修受入れ、現地指導等の活動を行ってきました。活動する上では、当法人の保育活動をそのまま模倣してもらうのではなく、現地の状況に合わせた方法に改良し、実践してもらえるよう心掛けてきました。今年2月に、本事業で作成した教員用ガイドブックがカンボジア王国に承認され全土に配布されたことで、本事業は一旦終了となりました。

当法人の約9年間の協力に対し、カンボジア王国教育省大臣より感謝状をいただくことになり、7月5日に贈呈式が行われました。SVA岡本専務理事からは、本事業がカンボジア王国より多大な評価を受け、成果

に繋がるような偉業を成し遂げられたことへの感謝の言葉と共に、本事業開始当初より先導してこられた山本前理事長へ感謝状が贈呈されました。

法人の理念に基づき、支援を求めるアジアの一国に手を差し伸べ、少なからず実績を残すことができ、感謝状をいただいたことは大変光栄なことです。これもすべては、良きパートナーシップを育みながら、常に細心の配慮のもと協働いただいたSVAの皆様のお陰と心より感謝いたします。

贈呈式での様子、岡本専務理事のお言葉全文をブログに掲載していますので、ぜひご覧ください。



▲今後の支援活動についても掲載予定です。時々チェックしてみてください!



## 機械と人間のWin-Win化計画 ～ロボット草刈機による農福連携のIT化と効率化を図る～

みのり  
ソーシャルワーカー  
平澤 春菜



この度、公益財団法人ヤマト福祉財団様から助成をいただき、ロボット草刈機を導入しました。今までは外部からの草刈り作業の受注において、顧客ニーズはあるものの、天竜厚生会のオリーブ畑の草刈り作業と受注依頼の繁忙期が重なってしまい、ニーズに答えられていない実情がありました。ロボット草刈機の導入により、オリーブ畑の草刈り作業の負担を減らし、その分の時間や人数を外部受注やオリーブ精製に充てるのが可能となりました。更に品質の向上を図り、収穫量を増やして製品の販売拡大に繋がりたいと考えています。

ロボット草刈機の贈呈式は7月17日に行われ、ヤマト運輸株式会社中部地域統括浜松主管支店長元脇様(写真右側)より贈呈書が授与されました。当日はクロネコヤマトのイメージキャラクター「クロネコ」・「シロネコ」も来場し、賑やかな雰囲気での贈呈式となりました。

現在、みのりではオリーブオイルをはじめ、オリーブの漬け物や、オリーブ葉っぱ珈琲、オリーブマドレーヌなど、様々なオリーブ商品を販売しています。この機会に是非遠州地方で収穫した地元産のオリーブをご賞味ください。

末筆ではございますが、公益財団法人ヤマト福祉財団様のご厚意に謹んで感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



▲贈呈式の様子



▲ロボット草刈機(呼称は、「ヤマトくん」です!!)

オリーブ商品のご注文は、下記にお問い合わせください。  
就労継続支援B型事業所みのり TEL: 053-583-1191

## 浜松市天竜障がい者相談 支援センター開設について

浜松市天竜障がい者  
相談支援センター  
係長 ソーシャルワーカー  
那須 将司



4月1日、天竜保健福祉センター2階に浜松市天竜障がい者相談支援センターを開設いたしました。これまで、浜北・天竜障がい者相談支援センターとして浜名区(旧浜北区)に事務所を構え、浜名区・天竜区エリアの相談支援を実施してまいりましたが、担当エリア内でのより手厚いアウトリーチ支援や地域づくりを目的として、浜名区・天竜区で事業所を分けて運営することとなりました。

当事業所は、浜松市から事業を受託し、社会福祉法人みどりの樹と当法人が運営しています。2つの法人が共同運営を行うことで、昨今の多様化した地域ニーズ、障がい児者またその家族などの日常生活や社会生活上の課題に対する専門的なソーシャルワークの実践が期待されています。

私たちは「地域にとってより身近な相談員」「我が町の相談員」となれるよう天竜区に腰を据え、近々の課題である8050問題、子どもの居場所、社会資源の不足などの多様化する地域ニーズに対し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていける共生社会を目指します。地域の皆様や様々な分野の専門職の方にご協力をいただきながら、1歩ずつ共に歩んでまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



▲天竜区民生委員児童委員協議会  
障害福祉部会勉強会の様子

## 第12回 いきいき健康フェスタへの参加

天竜ワークキャンパス  
所長  
秋葉 聡



6月2日(日)に浜松ギャラリーモールソラモで開催された「第12回 いきいき健康フェスタ」(以下「健康フェスタ」という。)に就労継続支援B型事業所「みのり」、「天竜ワークキャンパス」と生活介護事業所「美浜」の3事業所で参加しました。

健康フェスタは、浜松商工会議所が、浜松地域の健康を推進する目的で開催をしている市民向けのイベントであり、当法人のブースでは自主製品の販売及び「缶バッヂ作り」や「マグネット作り」の体験型ワークショップを通じて、障がいのある方と触れ合う機会をすることで、地域の方々に当法人及び事業所の活動を知っていただくきっかけ作りとしております。

本年度は50名ほどの方にワークショップに参加い

ただくことができ、ご利用者と触れ合いながら楽しく事業所で行っている活動を知っていただくことができました。

今後も地域のイベント活動等を通じて、自主生産品の販売を行うだけでなく、ワークショップ等のイベントも実施し、当法人の活動を広く知っていただけるよう努めていきたいと思っております。



▲ワークショップ開催の様子

今年度定年を迎える方に  
一言頂きました

## 出会いと感謝



赤石 寮  
ケアワーカー  
内山 光伸

私は、平成20年4月より天竜厚生会に契約職員として入職しました。最初にお世話になった部署はみのりでした。ご利用者の支援、クリーニング業務等に慣れず、帰宅後、夕食も食べないで寝てしまった日もありましたが、今となっては良い思い出です。

その後、正規登用で天竜厚生会介護福祉機器センターに異動になりました。居宅介護支援事業所やご利用者宅への訪問等、外回りの仕事をいたしました。ゼンリン地図で調べながら訪問し、道に迷う事もありましたが、訪問先へ遅れる事は訪問先、ケアマネジャーの方々に迷惑がかかる為、早めに着く事を心掛けていました。職員は少人数だった事もあり和気あいあいとしていました。また、この頃、天竜厚生会のゴルフ大会に参加させていた

だき優勝することができました。現在も天竜厚生会の職員、OBの方々とゴルフを楽しんでいます。

最後に配属された部署は赤石寮です。最初のソーシャルワーカーの施設案内で、施設の様子にびっくりした事が思い出されます。初めは、ご利用者との意思疎通ができず戸惑いましたが、その方の個性を大切にご利用者に寄り添った支援を心がけ、上手くいった時は喜びを感じる事ができました。

不安な気持ちでスタートした17年間でしたが、皆様に助けられて今日を迎えることができました。安堵と感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

## 縁(出会い)に感謝



しらいと  
看護師  
後藤 廣美

私が“しらいと”を知ったのは、平成10年、長男が通う小学校で“夏休み親子施設見学”に参加したのが縁でした。当時、建物が改築中だったことを記憶しています。

また、私が住んでいる旧芝川町は、平成22年に富士宮市との合併により、前職の芝川町社会福祉協議会が解散したことがきっかけで、再び“しらいと”に縁があり、入職しました。約15年間という長いようで短かった年月には様々な思い出が蘇ってきます。出発点はデイサービスで、朝の元気な挨拶から始まり、ボールやゴムバンドを使っての軽体操、ご利用者の笑い声や、元気な職員の掛け声が響き、毎日が生き生きと楽しかったことが思い出されます。そのあとは、特別養護老人ホームに異動となりました。ご利用者の生活を守る健康診

断・病院受診等、暫く病院勤務から離れていたのですが、戸惑いもありましたが、先輩看護師よりご指導いただいたこと、感謝しております。

宅直で初めての一人勤務、緊張しながら仕事を行ったこと、ご利用者の救急搬送を見極めた時、そこにはいつも協力してくれた仲間がいました。“終の棲家”として生活する高齢者の看取りでは、多職種で連携できたこと、ご家族とのふれあい、皆で見送りできた感動、たくさんの思い出でいっぱいです。

15年間仕事を続けられたこと、多くの知識を得たこと、そして大勢の方々との出会い、本当に感謝しております。ありがとうございました。

# 苦情受付の公表について(定期報告)

令和6年4月～令和6年7月に当法人にいただいた苦情等は次のとおりです。貴重なご意見ありがとうございました。

◆受付件数 ○法人全体：88件（うち公表可47件）

◆主なサービス種別ごとの受付代表事例

## 障がい者関係事業 5件（うち公表可3件）

施設名	天竜厚生会アクシア藤枝	是正日	令和6年6月3日
件名	カバンに入れた書類の確認について		
ご意見/ご要望の内容	ショートステイ利用時に封筒に入れた連絡票と実績記録表をカバンに入れて持参したが、ショートステイ終了後もそのままカバンの中に入っていた。荷物の確認をしっかりとっているのかを教えてください。		
対応内容	ショートステイご利用者の荷物については、帰宅時に返却忘れがないよう荷物チェック表への記載と写真撮影をすることとしましたが、連絡票や実績記録表については荷物チェック表のチェック項目に入っていなかったため確認漏れがあり、そのまま返却をしてしまいました。今後については、荷物チェック表の中に連絡票等の項目を作成し、受入れ時に必ずチェックすることとしました。ご家族には上記の旨を説明し、謝罪をしました。		

## 高齢者関係事業 7件（うち公表可4件）

施設名	さやの家	是正日	令和6年5月8日
件名	整容がしっかりとされていなかったことについて		
ご意見/ご要望の内容	面会の際、ご本人の衣類に牛乳がこぼれた跡がついていた。また、髪の毛が肩にたくさん付いていた。整容をしっかりとしてほしい。		
対応内容	申し立てを受けたその場で謝罪し、すぐに着替えを行いました。当日対応した職員は洋服が汚れていたことに気付いていましたが、当日午前中に入浴予定があったため、衣類交換を怠っていました。整容についての意識不足が原因でした。法人が作成している「ご利用者の生活サポート帳」を活用し、会議内で話し合い、整容についての意識付けを行っていきます。		

## 就労関係事業 10件（うち公表可4件）

施設名	天竜ワークキャンパス	是正日	令和6年6月10日
件名	不良品の混入について		
ご意見/ご要望の内容	出荷した品物の中にチューブの通し方を間違えている物が3本あった。今回は2次加工を実施する業者より不良品が出ている旨連絡が入ったので大事に至らなかったが、最終工程の段階で不良が発覚した場合大きな問題になりかねないので注意をお願いしたい。		
対応内容	申立者に謝罪しました。原因としては①検査手順書の作成ができていなかったこと②職員も検査作業に不慣れであったこと、③職員が検査中に他利用者に呼ばれその場を離れたこと④職員は検査作業が可能なお利用者だと考え依頼したが、実際は困難だったことが考えられます。是正として新規作業を請負う時にはトライを行い、その段階で検査も含めた作業指示書を作成すること、関連職員・ご利用者に検査指示書による検査方法を伝え共有すること、今後検査要員となるご利用者を再度人選しそのご利用者が作業ができるようになるまで職員とダブルチェックを行うことといたします。		

## 地域福祉関係事業 34件（うち公表可19件）

施設名	さいわいデイケアセンター	是正日	令和6年4月12日
件名	返却間違いについて		
ご意見/ご要望の内容	持参した軟膏を持ち帰っていないため確認してほしい		
対応内容	入浴時、使用後の軟膏について、薬袋の記名の確認を怠り、誤って他のご利用者の鞆に入れてしまいました。入浴支援中の作業は、返却間違いが起りやすいため、確実に確認できる時間帯(タイミング)に変更しました。		

## 子育て関係事業 11件（うち公表可4件）

施設名	子育てセンターさやのもり	是正日	令和6年4月8日
件名	他児のおむつを履いて帰宅したことについて		
ご意見/ご要望の内容	帰宅した際に自分の子どものものではないおむつを履いていた。(名前が職員の字で手書きされていたが、本児が使っているメーカーではなかった。)おむつの中を見ると数ミリの便が付着していたが、本児は当日排便がなく、トイレでの排泄ができるため、自分の子どものものである可能性は低いと考えられる。また、おむつの見た目や触り心地から日中(午前中)に履いていたものではないかと思われる。どのような経緯があったか知りたい。他児のおむつを履いていたことは、衛生面からも良くないため同じことがないよう改善してほしい。		
対応内容	原因として午睡明けに記名のないおむつを本児が履いており、そのおむつが濡れていないことを確認し、降園時に履くよう取りおいていましたが、その際に着替えを行う園児が多くいたこともあり、職員が記名する際に他の園児の無記名のおむつと入れ違いが起きてしまったと考えられます。是正として、一度履いた記名のないおむつは再度使用せず、記名がない場合には保護者に記名をお願いすることといたします。また、午睡明けの着替えは、少人数ずつ着替えられるよう生活の流れを見直しました。謝罪のうえ経緯と是正をお伝えしました。		

受け付けた苦情等は、記載した事例の他にも、以下の天竜厚生会ホームページに掲載しております。

★URL：<https://www.tenryu-kohseikai.or.jp/koukai/complaints/list/>



【お問い合わせ】  
監査指導課  
TEL:053-583-1424

# 善意の皆さま

## ご 寄 付

ありがとうございます

◎ご厚意に沿うべく、大切に活用させていただきます。

- 浜名  
[5月]  
鈴木 英夫様
- 浜名  
[6月]  
島村 幸子様
- 美浜  
[7月]  
浜松市立積志中学校生徒会様  
浜松市社会福祉協議会天竜地区センター様

## ご 寄 贈

ありがとうございます

◎ご厚意に沿うべく、大切に活用させていただきます。

- 天竜厚生会研修センター  
[5月]  
株式会社コンパクト様
- 天竜ワークキャンパス  
[7月]  
株式会社森修焼様

## ボ ラ ン テ ィ ア

◎貴重なお時間を頂き  
ありがとうございました。

## 入所支援課

- 厚生寮  
中小路 美穂様  
水野 征男様
- 浜名  
野口 めぐみ様  
老川 裕美様  
洗濯物整理ボランティア様

朗読ボランティア様  
縫製ボランティア様

- 浜北学苑  
天竜おはなしの会様  
本榎 美智子様  
さらだの会様
- 天竜厚生会いとおめ  
南部マジック様  
大石 ひろみ様

- 百々山  
松本 和子様  
夏目 昭子様  
伊藤 久子様  
長谷川 早苗様  
鈴木 光世様  
三輪 佐恵子様  
内山 かおる様  
笹竹 久江様  
鈴木 とも子様  
佐口 スズヨ様  
牧澤 裕子様

- 翠松苑  
大野 博志様  
赤佐6区花の会様  
ちどり様  
渥美 育子様  
小池 ちとせ様

- しらいと  
佐野 孔彦様  
笠井 喜美子様  
青山 秀子様  
桐部 桂子様

- さやの家  
赤十字奉仕団様

- しんぱらの家  
有谷 まり子様

- しんぱらの家  
静岡県立浜北西高等学校ボランティア部様

- 天竜厚生会城北の家  
吉田 たい子様  
富田 廣子様  
高山 かつ子様  
伊佐治 悦子様

- 清風寮  
渥美 育子様  
小池 ちとせ様  
鈴木 政子様

## 地域福祉課

- さやの家デイサービスセンター  
瀧本 真央様

- しらいとデイサービスセンター  
遊心研究所様

- 龍山デイサービスセンター  
内山 美恵子様  
三枝 順恵様  
龍山ハーモニカバンド様

- 宮脇デイサービスセンター  
後藤 昭様  
石上 清様  
鈴木 みどり様  
西ちゃん会様

- しんぱらの家デイサービスセンター  
株式会社第一興商様  
DFバンド様  
内藤 忠雄様  
さくらんぼクラブ様  
浜北マジッククラブ「トリック」様

- くまデイサービスセンター  
浜松市立熊幼稚園様  
浜松市立熊小学校様  
平野 健寿(浜松いきいき隊)様  
天竜おはなしの会様

## 子育て支援課

- 天竜厚生会ちゅるか  
岡本 和夫様
- 天竜厚生会いりいお  
岡本 和夫様
- やまぼうし  
河合 清子様
- 子育てセンターこまつ  
室内 房世様  
中村 露子様  
原田 みつよ様  
北嶋 史雄様  
浅井 弘一様  
moms music factory様  
一日保育ボランティア様
- 子育てセンターきぶね  
鈴木 信貴様  
足立 篤子様  
伊藤 清人様  
萩野 宗子様  
笹村 崇様  
笹村 泰伯様
- 子育てセンターしばもと  
中谷 亜沙実様  
村山 千早佳様  
中村 苑未様  
鈴木 歩美様  
鶴田 則子様  
市川 良子様  
神谷 裕香様  
松浦 信子様  
畑木 知子様  
金原 宏美様  
加藤 利衣子様  
渡瀬 和子様  
川上 節子様  
鈴木 幸枝様  
金子 とみ子様  
清 華子様  
堀内 加菜様  
小林 果那恵様  
金子 テル子様
- 子育てセンターしんぱら  
折金 早苗様  
田坂 満恵様
- ひらまつファーム様  
竹内 博之様  
金子 とみ子様  
松浦 信子様  
鈴木 幸枝様  
長嶋 由季子様  
太田 猪久雄様  
足立 香代様  
樺 忠次様
- 子育てセンターなかぜ  
鈴木 秀子様  
三室 照江様
- 子育てセンターさやのもり  
梅田 昭好様  
おはなしのたね様  
掛西学園ボランティア様
- 子育てセンターひだまり  
鈴木 金雄様  
大井 保子様  
西島 千恵子様  
小倉 智子様  
鈴木 和枝様  
佐藤 暁洋様  
佐藤 弥幸様  
佐藤 麻子様  
杉谷南地区自治会様
- すずかけっこ保育園  
おはなしのたね様  
後藤 富位様  
鈴木 由郎様
- 子育てセンターとものもり  
おはなしのたね様  
中村 一雄様  
平尾 紘様  
樹山 俊博様
- 子育てセンターすぎのこ  
小倉 啓子様  
おはなしの会様  
劇団すぎっこ様
- 子育てセンターやまびこ  
島 全良様  
黒川 泰様  
小倉 啓子様  
劇団すぎっこ様  
天竜おはなしの会様  
静岡県立天竜高等学校ボランティア様

- 子育てセンターみゅうのおか  
おはなしの会様  
ヤマト運輸株式会社様  
太田 一成様
- なぎさ保育園  
河辺農園様  
どんぐり人形劇様  
柴田農園様  
子ども読書アドバイザー 青島智深様  
小野田時計店 小野田英文様、知子様  
すこやかファーム様  
河田 弘子様
- 子育てセンターみなみしま  
鈴木 美帆様  
村松 義明様  
川島 厚枝様他4名様  
磐田市赤十字奉仕団様
- 子育てセンターとみがおか  
えほんを楽しむ会様  
宮野 愛様  
井口 君夫様
- やまびこ児童クラブ  
島 全良様  
黒川 泰様  
天竜おはなしの会様
- ふたまた児童クラブ  
天竜おはなしの会様

## 福祉サービス課

- 福祉サービス課  
浅井 千枝子様  
静岡県立浜北西高等学校書道部様  
静岡県立浜北西高等学校柔道部様  
静岡県立浜北西高等学校生徒会様

第49回

# 厚生会 まつり

この場所で輝く笑顔にまた会える



ホスピタルクラウン

同時開催 第54回 施設合同作品展 (研修センター2F)



家族で参加できる!

クイズラリー  
クリアして景品GETしよう!



歌謡ショー  
江島ちあき



入賞者には  
賞品あります!  
第21回  
写真コンテスト



歌謡ショー  
田辺靖雄&九重佑三子  
司会/小川綾乃



約40店舗  
模擬店

開催日時 令和6年

# 10/27日

10:00~15:00  
・小雨決行

会場 天竜厚生会研修センター前広場  
静岡県浜松市浜名区於呂4201-6

プログラム

10:00 開会宣言、模擬店開始  
10:00~13:20 施設ご利用者、地域の方々によるステージ  
13:30~15:00 芸能人歌謡ショー

ステージ出演

浜北西高校(マーチング・吹奏楽演奏)、おやじバンド(バンド演奏)、  
M's Fairies(パントフリンク)、天竜高校(吹奏楽演奏)、  
清電中学校・光が丘中学校(吹奏楽演奏)(順不同)

無料シャトルバスを  
運行します!  
運行時間/8:00~16:00



- 1 鉄道でお越しの方  
西倉島駅  
天竜厚生会
- 2 お車で越しの方  
矢崎エナジーシステム中瀬工場駐車場  
天竜厚生会



【主催】社会福祉法人 天竜厚生会



【問い合わせ先】地域福祉事業部 福祉サービス課  
☎053-583-1123

(URL) <https://www.tenryu-kohseikai.or.jp/about/features/matsuri/>

【後援】浜松市、浜松商工会議所、浜北商工会、天竜商工会、天竜区観光協会、浜松市社会福祉協議会、静岡銀行天竜支店、浜松いわた信用金庫於呂支店  
【協賛】公益財団法人 静岡県予防医学協会 浜松健診センター (順不同)